

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
周りの人とよりよい関係を築くって?	4月 (2)	(内容項目を限定しない) 1 道徳が始まるよ	道徳科で何を学ぶのか、どのように学ぶのかについて考えさせながら、1年間の道徳科の学びの見通しをもたせ、意欲的に道徳科を学んでいこうとする実践意欲を育てる。	★道徳科とは、何をどのように学ぶ時間なのだろう。 ①教科書P4・5「道徳で学ぶ22のとびら」を見て、これまでの道徳科の学習を振り返りながら、道徳科ではどんなことを考えていくのか、改めて理解する。 ②教科書P6・7「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」を見て、話し合いをするときに大切な「こつ」について理解する。 ③「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」を使って、自分がどんなときに「かっこいいな。」と思うかについて話し合う。 ④教科書P8・9「道徳 みちあんない」を見て、これから1年間の学びの見通しをもつ。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○道徳科で何を学ぶのか、どのように学ぶのかについて考え、1年間の学びの見通しをもち、意欲的に学んでいこうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 4年生のときの道徳科の学習を思い起こしながら、これからの道徳科の学習を想起し、期待を膨らませている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 道徳科の学習では、自分で考えるだけでなく、みんなで話し合うことで考えが広がったり深まったりすることを感じている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 何を学ぶか、どのように学ぶかを理解し、1年間の学びの見通しをもって、道徳科を学んでいこうとしている。	
	4月 (3)	【自分の役割を果たす】 C(16)よりよい学校生活、 集団生活の充実 2 わたしは飼育委員	委員会の仕事に不満を感じる加菜が変容する姿などを通して、自分の役割を果たすためにはどんなことが大切かを考えさせ、集団における自分の役割を自覚し、責任を果たそうとする実践意欲を育てる。	★自分の役割を果たすためには、どんなことが大切なのだろう。 ①はじめに「読むときには」「話し合ったり、書いたりするときには」を読んで、それぞれの留意点を確認する。 P11-14の吹き出しは、教材を読みながら確認していくことを伝える。 ②「わたしは飼育委員」を読み、加菜はどうして「自分だけ損をしているような気がした」のかを考え、発表する。 ③加菜の足取りを軽く感じさせたものは何だったのかを考え、話し合う。 ④クラスや学校の中で、どんな仕事を任されているか、また、その役割を果たすためにはどんなことが大切かを考え、発表する。 ▼これまで、先生や上級生たちのおかげで気持ちよく生活できていたと思うのは、どんなことかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○集団における自分の役割を自覚し、責任を果たすことの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 学校で自分が任されている仕事に、自分はどのように取り組んでいるかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自分が果たす役割の重要さについて、自分の充実感や周りの人への影響、それが学校をどう支えているのかなど、さまざまな観点で考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 クラスや学校という集団を支えているのは自分たち自身であるという自覚を踏まえ、どんな気持ちで自分の役割を果たしていこうかと考えている。	特別活動(児童会活動) キャリア教育 社会参画に関する教育
	4月 (4)	【夢をかなえるために】 A(5)希望と勇気、努力と 強い意志 3 夢を実現するためには	野球選手の太谷翔平さんの実践などを通して、夢や目標を実現するのに大切なのはどんなことかを考えさせ、夢や目標を設定し、その達成を目標として努力しようとする実践意欲を育てる。	★夢や目標を実現するために大切なのは、どんなことだろう。 ①かなえたい夢や目標をどう実現していくかについて考えたことがあるか、出し合う。 ②「夢を実現するためには」を読み、太谷選手はどんな思いで「目標達成シート」に当時の夢を書き込んだのかを考え、発表する。 ③太谷選手はどうして夢を実現することができたのかを考え、話し合う。 ④5年生の目標を達成するために、「目標達成シート」を書いて、発表する。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○夢や目標を設定し、その達成を目標として努力しようとすることの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 夢や目標を実現するためにどんなことをしているか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 夢や目標を実現するための道筋は、人によってさまざまであることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 目標を立てることや、それに向かって努力することについて考え、自分のこれからの生活に生かしていこうとしている。	特別活動(学級活動) キャリア教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
周りの人とよりよい関係を築くってっ	5月 (2)	【節度を守って】 A (3) 節度、節制 4 流行おくれ	家族の言葉で身の回りの乱れを気にし始めるまゆみの姿などを通して、節度ある生活を送るために大切なのはどんなことを考えさせ、進んで生活を見直し、節度ある生活をしようとする判断力を育てる。	★節度ある生活を送るために大切なことは、どんなことだろう。 ①「節度」という言葉の意味を確認する。 ②「流行おくれ」を読み、わざと大きな足音を立てて自分の部屋へ駆け上がったとき、まゆみはどんなことを思っていたかを考え、発表する。 ③母やわたるの言葉から、まゆみはどんなことを考えたかを想像し、話し合う。 ④「節度ある生活」とはどういうものかを考え、話し合う。 ▼自分の生活の中でこれだけは直したいと思うことを、家族や友達に伝える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○自分の生活を進んで見直し、節度ある生活をしようとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 節度ある生活を送っているか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 節度ある生活を送るために大切なことについて、その重要さや難しさなど、さまざまな視点から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 節度を守るとは大切だが簡単ではないことを踏まえ、実現するためには、どんなことを大事にしていこうかと考えている。	消費者教育
	5月 (3)	【親切とは】 B (7) 親切、思いやり 5 道案内	「ぼく」たちと中学生の道案内のしかたの違いなどを通して、親切な行いをするとき大切なことは何かを考えさせ、相手の状況や気持ちを考え、進んで親切にしようとする実践意欲を育てる。	★親切な行いをするとき大切なことは、何だろう。 ①最近誰かにした親切は、どんなことを思い起こし、出し合う。 ②「道案内」を読み、「やっぱり、いいことをした後は気持ちがいいなあ。」とうなずき合ったとき、「ぼく」と木村くんは、どんなことを考えていたかを想像し、発表する。 ③「ぼくたち、少し足りなかったのかな。」と言ったとき、木村くんはどんなことを考えていたかを想像し、話し合う。 ④親切な行いをするとき大切なことはどんなことを考え、話し合う。 ▼親切にしたいって思ったら、どう行動ができるかをこれからも考えていくことを確認する。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○相手の状況や気持ちを考え、進んで親切にしようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 誰かに親切にするときに、自分はどんなことを大切にしてきたかと、自らの経験を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 相手の立場に立って考えることのよさと難しさの両面から、相手のためになる言動をすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 相手にとって本当に必要な親切をするために、どんなことを大切にしていこうかと考えている。	図書館活用 共生 福祉に関する教育
	5月 (4)	【責任ある行動とは】 A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任 6 いこいの広場	公園でキャッチボールをする中学生と、注意する男性の言い合いを見た「ぼく」の姿などを通して、責任ある行動とはどんなものかを考えさせ、状況に応じて自律的に考え、行動しようとする判断力を育てる。	★責任ある行動とは、どんなものだろう。 ①広場や公園とはどんな場所か、どんな人が何のために来る所かを考え、出し合う。 ②「いこいの広場」を読み、二人の中学生がキャッチボールをしているのを見て、「ぼく」がなんとなく気になっていたのはなぜかを考え、発表する。 ③「それにここは、みんなの広場だろう。」という中学生の言葉を聞いたとき、「ぼく」はどう思ったかを考え、話し合う。 ④二人の中学生がどのようなことを考えればよかったと思うかを考え、発表する。 ▼自分で考えて行動することが難しくなったときに、本時で学んだことを思い出すように促す。 ▼「考えるヒント」(道徳で使う言葉)を読み、発表や話し合いの場面で活用する。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○その場の状況に応じて自律的に考え、行動しようとする大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段、自分の行動の影響を考え、それに責任をもとうとしているかと、自分を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 責任ある行動を取る際に留意すべき点は、いろいろあることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の行動に責任をもつために、どんなことに気をつけられようかと考えている。	共生 安全教育 社会参画に関する教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり	
周りの人とよりよい関係を築くって？	6月 (1)	【よりよいきまりとは】 C (12) 規則の尊重 7 公園のきまりを作ろう	さまざまな人がいる公園の絵を見て、その公園にきまりを作る活動などを通して、きまりはどんなことを大事にして作ればよいのかを考えさせ、きまりの意義を理解したうえで、それを進んで守ろうとする実践意欲を育てる。	★きまりは、どんなことを大事にして作ればよいのだろう。 ①きまりがあるのに、守られていないことがあるのはどうしてかを考え、出し合う。 ②P34・35の公園の絵を見て、どんなところが気になるかを発表する。 ③②で気になったところを解決するためには、どんなきまりがあればよいと思うかを話し合う。 ④③で考えたきまりは、どんなことを大事にして作ったかを発表する。 ⑤③で考えたきまりを公園の看板に書くとしたらどのように書くかを考え、発表する。 ⑥きまりを作る立場になったとき、大事にしなければならないことはどんなことかを考え、話し合う。 ▼きまりがきちんと守られるためには、みんなが、どんなふうにかえることが必要なかを考える。 ⑦巻末「学びの記録」に記入する。	○きまりの意義を理解し、それを進んで守ろうとすることの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 これまで、自分はきまりが作られた意義について考えてきたことがあったかと、自分を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 さまざまな主張や立場がある中で、みんなにとってよりよいきまりを作ることの大切さや難しさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 きまりの意義を意識したうえで、自分はきまりに対してどう向き合っていこうかと考えている。	国語科 特別活動(学級活動) 共生 法教育	
	適宜	★心を通わそう★ 相手のことを思いやって言葉をかけよう B (7) 親切、思いやり/B (11) 相互理解、寛容 年間を通して、適宜、「相手のことを思いやって言葉をかけよう」を読み、温かい言葉をかけ合う活動を通して、思いやりをもって友達のことを理解しようとする意識をもつ。					
	6月 (2)	いじめを許さない心 【理解し合うために】 B (11) 相互理解、寛容 8 みんな、おかしいよ!	「わたし」(和花)の友達との関わり方などを通して、相手と理解し合うために大切なことを考えさせ、自分の考えや意見を適切に相手に伝え、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重しようとする実践意欲を育てる。	▼友達とよりよい関係を築くためにはどうしたらよいかを、「みんな、おかしいよ!」と「ドッジボール対決」を通して考えることを確認する。 ★相手と理解し合うためには、どんなことが大切なのだろう。 ①友達とうまく理解し合えなかったことがあるかを振り返る。 ②「みんな、おかしいよ!」を読み、登場人物の言い分を整理し、確かめる。 ③「わたし」(和花)は、どうして本当のことを言ったら友達が減っているのかを考え、発表する。 ④絵里子はどんな思いで、真紀に「言い方がちよつときついんだよ。」と言ったのかを考え、話し合う。 ⑤相手に自分の気持ちを伝えるのが難しいと感じたことはあるかを振り返り、相手と理解し合うためにはどんなことが大切なのかを考え、話し合う。 ▼次の「ドッジボール対決」を学んだ後、教科書P48・49のコラム「おたがいを大切にしよう」を読み、友達とよりよい関係を築くことについて、さらに考えを深める。 ⑥巻末「学びの記録」に記入する。	○自分の考えや意見を適切に相手に伝え、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重しようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分は相手の気持ちを理解しようとしながら人と関わっているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 異なる考えをもつ相手を理解し尊重することの大切さと難しさの両面について、考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の考えを伝えることや、広い心で異なる意見や立場を尊重することの大切さを意識したうえで、これからの自分の在り方について考えている。	図書館活用 いじめ問題 共生	

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
周りの人とよりよい関係を築くって？	6月 (3)	【たがいに高め合いながら】 B (10) 友情、信頼 9 ドッジボール対決	力を合わせるものの見解の違いに悩む真の姿などを通して、互いに高め合える友情とはどんなものかを考えさせ、友達と信頼し合い、協力して学び合いながら友情を深めていこうとする心情を育てる。	★おたがいに高め合うことのできる友情とは、どんなものだろう。 ①友達と何かをするために、別の友達に何かをがまんしてもらったことはあるかを振り返り、出し合う。 ②「ドッジボール対決」を読み、「ぼく」はどんな気持ちでドッジボール対決を提案したのかを考え、発表する。 ③都に「真くんのクラスの力を合わせるって、そういうことなの？」と言われたとき、「ぼく」はどんなことを考えたのかを想像し、話し合う。 ④この後、「ぼく」はクラスのみんなにどんなことを話すかを演じて考え、話し合う。 ▼教科書P47の「考えるヒント」(演じて考えよう)を読み、役割演技をする際に活用する。 ▼性別に関わりなく高め合える友情について考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○友達と信頼し合い、協力して学び合いながら友情を深めていこうとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 友達との関わり方について、これまでの自分を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 1対1の友達関係と集団における友達関係の両面から、互いに協力し高め合う友情について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これから、どのようによりよい友達関係をつかっていこうかと考えている。	特別活動(学級活動) いじめ問題 共生
	適宜	★コラム★ 〈いじめを許さない心〉 おたがいを大切にしよう B (10) 友情、信頼/B (11) 相互理解、寛容/C (16) よりよい学校生活、集団生活の充実				いじめ問題 共生
	6月 (4)	【命の大切さ】 D (19) 生命の尊さ 10 命の詩—— 電池が切れるまで	宮越由貴奈さんが書いた命の詩やエピソードなどを通して、命の大切さについて考えさせ、限りある命を懸命に生きることの尊さを感じ取り、自分らしく精いっぱい生きようとする心情を育てる。	★命の大切さについて、考えよう。 ①自分にとって、命ってどんなものかを考え、出し合う。 ②「命の詩——電池が切れるまで」を読み、「命」という詩でゆきなさんが伝えたかったことは何かを考え、発表する。 ③「精いっぱい生きる」とはどういう生き方をするのかを考え、話し合う。 ▼ゆきなさんが精いっぱい生きた姿を、より深く知ることのできる本を読む。 ④巻末「学びの記録」に記入する。	○限りある命を懸命に生きることの尊さを感じ取り、自分らしく精いっぱい生きるについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 命について、これまでの自分はどんな考えをもっていたかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、「精いっぱい生きる」という生き方に対する考えは、さまざまあることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の命を精いっぱい生きるために、これからどうしていこうかと考えている。	図書館活用 いじめ問題
7月 (1)	自然と共に 【自然を大切に】 D (20) 自然愛護 11 一ふみ十年	高山植物を守り続ける人の話を聞き、自然の不思議さを感じる勇の姿などを通して、自然とのよりよい関わりについて考えさせ、自然環境を大切にしていこうとする心情を育てる。	▼自分を取り巻く環境について、「一ふみ十年」と「宇宙から見えたもの」を通して考えることを確認する。 ★自然とのよりよい関わりについて、考えよう。 ①ついうっかり、自然を傷つけてしまった経験があるかを思い出し、出し合う。 ②「一ふみ十年」を読み、「遊歩道から出ないでください。」と言われたとき、勇はどんな気持ちだったかを考え、発表する。 ③「一ふみ十年」という言葉を知って、勇はどんなことを考えたのかを想像し、話し合う。 ④「自然はすごいな。」「すばらしいな。」と思ったことはあるか、また、それはどんなときかを思い起こし、発表する。 ▼自然と触れ合う機会に、本時の学びを思い出すことを確認する。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○自然環境を大切にすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 これまでにどのような自然をどのように大切にしてきたか、自分を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 登場人物の姿や友達の考えをもとに、人の力の及ばない自然のすばらしさや、人と自然の関わり方についての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自然のすばらしさを意識したうえで、これからの自分はどう自然と関わっていこうかと考えている。	理科 総合的な学習の時間 環境教育	

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
周りの人とよりよい関係を築くって？	7月 (2)	【すばらしさを感じる心】 D (21) 感動、畏敬の念 1 2 宇宙から見たもの	宇宙から見た地球の様子を文章と写真で見つめることなどを通して、宇宙の広がりや思いをはせ、美しいものや気高いものへの感動や、人間の力を超えたものへの畏敬の念を大切にしようとする心情を育てる。	★宇宙の広がり、思いをはせよう。 ①宇宙と自分のつながりについて考えたことはあるかを振り返り、出し合う。 ②「宇宙から見たもの」を読み、いちばん心に残ったのはどこか、理由と一しよに発表する。 ③美しいものやすばらしいものを見て感動したことがあるか、また、それはどんなときかを思い起こし、発表する。 ▼教科書 P68・69 のコラム『地球温暖化』を知ろう』を読み、環境についての考えを深める。 ④巻末「学びの記録」に記入する。	○美しいものや気高いものへの感動や、人間の力を超えたものへの畏敬の念を大切にしようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分がこれまでに感動した美しいものやすばらしいものには、どんなものがあるかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞き、人の心を打つ事象や出来事はさまざまであることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 美しいものやすばらしいものを素直に「美しい」「すばらしい」と感じる心を大切にしていこうと考えている。	理科 環境教育
	適宜	★コラム★ 〈自然と共に〉 「地球温暖化」を知ろう A (3) 節度、節制/D (20) 自然愛護/D (21) 感動、畏敬の念				理科 環境教育
○「学習のまとめ」を振り返った評価(4~7月)						
ここまで学んだ、【C (16) よりよい学校生活、集団生活の充実】【A (5) 希望と勇気、努力と強い意志】【A (3) 節度、節制】【B (7) 親切、思いやり】【A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【C (12) 規則の尊重】【B (11) 相互理解、寛容】【B (10) 友情、信頼】【D (19) 生命の尊さ】【D (20) 自然愛護】【D (21) 感動、畏敬の念】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。「学びの記録」にある児童の書き込みや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものが見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。						
広い視野で人や社会と関わるって？	適宜	★「考える」じゅんびたいそう★ 話し合いながら考えを深めていくことが上手になるように、教科書 P71 の「進め方」に即して、テーマを決めて話し合い、これからの学習に生かす。				
	9月 (1)	【安全に生活するために】 A (3) 節度、節制 1 3 自分の身は自分で守る	「わたし」が避難訓練で思ったことや、「ぼく」が交通事故を起こして思ったことなどを通して、安全な生活には何が大切かを考えさせ、安全に関する意識を高め、節度ある生活をしようとする実践意欲を育てる。	★安全に生活するためには、どんなことが大切なのだろう。 ①安全に生活するためにどんなことに気をつけているかを振り返り、出し合う。 ②「①」の文章を読み、「自分の身は自分で守る」と心の中で繰り返した「わたし」は、どんなことを考えていたのかを想像し、発表する。 ③「②」の文章を読み、「自分の身は自分で守る」という言葉は、事故を起こさないように気をつけることと、どんなところがつながっているのかを考え、発表する。 ④自分や周りの人々の安全のために、どんなことに気をつけていきたいと思うかを考え、話し合う。 ▼教科書 P76 の「考えるヒント」(図を使って考えよう)、教科書 P188 の「学びの道具箱」(フィッシュボーン)を適宜、活用する。 ▼子どもが犯罪に巻き込まれることを防ぐための合言葉「つみきおに」について調べる。 ▼教科書 P190 の「日本各地で取り組む『防災活動』」を見る。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○安全に関する意識を高め、節度ある生活をしようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 安全に生活するために、自分はどんなことを大切にしているかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 さまざまな状況を想定して、自分の身を自分で守ることについての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 安全に十分に注意を払い、自分の身を自分で守るためには、どのような意識を大切に生活していこうかと考えている。	特別活動(学校行事) 安全教育 防災教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
広い視野で人や社会と関わるって？	9月 (2)	【明るい心で】 A (2) 正直、誠実 14 このままでいいのかな	周囲の勢いに流され、正しいことを言えない「わたし」の姿などを通して、明るい心で生活するには、どう考え、判断すればいいかを考えさせ、自分自身に誠実であろうとする判断力を育てる。	★明るい心で生活するためには、どう考え、判断すればよいのだろう。 ①なんだか心がもやもやするときはないか、また、それはどんなときかを思い出し、出し合う。 ②「このままでいいのかな」を読み、もやもやしている「わたし」の心の中を想像し、どうすればその「もやもや」が晴れるかを、教科書 P79 の四つのステップに沿って考え、話し合う。 ③話し合ったことを通して、「もやもや」を晴らすために大切なことは何かを話し合う。 ④心のもやもやを晴らせたことはあるか、また、今は明るい心で生活しているかを振り返る。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○自分自身に誠実であろうとすることのよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分自身に誠実に、明るい心で生活しているかと、自分を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自分自身に誠実に生きることの大切さだけでなく、その難しさについても考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の意に反して周囲に流されてしまうことなく、自分自身に誠実に生きていこうと考えている。	いじめ問題 共生
	9月 (3)	情報と向き合う 【礼ぎとは】 B (9) 礼儀 15 あいさつって	三つの出来事から挨拶や礼儀について考える「ぼく」の姿などを通して、挨拶や礼儀はなぜ大切なかを考えさせ、相手の立場や気持ちを考えて心の籠もった接し方をしようとする判断力を育てる。	▼情報との向き合い方について、「あいさつって」を通して考えることを確認する。 ★あいさつや礼ぎは、なぜ大切なのだろう。 ①誰に対してもきちんとして挨拶ができてきているかを振り返り、発表する。 ②「①」の出来事を読み、母に「きちんとあいさつもできないの？」と言われた「ぼく」は、どんなことを思っていたかを想像し、発表する。 ③「②」の出来事を読み、通り過ぎていった男子にむつとした「ぼく」はどんなことを思っていたか、また、この前の土曜日のことを思い出した「ぼく」はどんなことを考えたかを想像し、発表する。 ④「③」の出来事を読み、「ぼく」が分かったような気がした「あいさつや礼ぎが大切なわけ」とはどんなことを考え、話し合う。 ▼教科書P84・85のコラム「インターネットの特性とマナー」を読み、インターネット上での礼儀について考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○相手の立場や気持ちを考えて心の籠もった接し方をしようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段の挨拶をどのように行っているか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 さまざまな状況、また、さまざまな相手に対する挨拶を想定して、挨拶や礼儀の意義についての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 気持ちのよい挨拶が周囲に与える影響を踏まえて、礼儀正しい行動ができる自分であるためには、どんなことを大切にしていこうかと考えている。	国語科 情報モラル
	適宜	★コラム★ 〈情報と向き合う〉 インターネットの特性とマナー A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任/B (9) 礼儀/B (11) 相互理解、寛容				
	9月 (4)	【友達を思う心】 B (10) 友情、信頼 16 友のしょうごう画	重い病気と闘う章太の作品を目にして涙する「ぼく」の姿などを通して、友達を思う心とはどんなものかを考えさせ、友達と互いに信頼し合い、支え合って友情を深めていこうとする心情を育てる。	★友達を思う心とは、どんなものだろう。 ①友達を助けたり、友達から助けられたりしたことはあるかを振り返り、出し合う。 ②「友のしょうごう画」を読み、章太からの返事が来なくなったとき、どうして和矢は手紙が書きづらくなってしまったのかを考え、発表する。 ③章太の作品を見て涙があふれたとき、和矢はどんなことを思っていたかを考え、話し合う。 ▼「考えるヒント」(こんな活動で考えることもできるよ)を適宜、活用する。 ④友達とはどんな存在かを考え、話し合う。 ▼友達と支え合えてよかったと思ったことを紹介し合う。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○友達と互いに信頼し合い、支え合って友情を深めていくことの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分は友達とどのように支え合っているかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えをもとに、友達と信頼し合うことの難しさや、友達と信頼し合えたときの喜びなど、さまざまな観点で友達との関わりについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 信頼で結ばれた友達関係を築くために、これからどんな気持ちで友達と接していきたいかを考えている。	共生

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり	
広い視野で人や社会と関わるって？	10月 (1)	【集団の中での役割】 C (16) よりよい学校生活、 集団生活の充実 17 健太の役割	二つの役割を果たそうと悩む健太の姿などを通して、集団の中で、自分の役割を果たすために大切なことを考えさせ、自分の役割と責任を自覚し、集団生活の充実に努めようとする判断力を育てる。	★集団の中で、自分の役割を果たすために大切なのは、どんなことだろう。 ①日直や係、委員会の仕事など、どんな気持ちで取り組んでいるかを思い起こし、出し合う。 ②「⑧」の場面で、健太はどんな理由で、どちらの役割を果たすことに決めたとするかを考え、発表する。 ③「⑧」の場面で選ばなかったほうの役割について、健太はどう考えていると思うかを想像し、発表する。 ④集団の中で自分の役割を果たしていくためにはどのようなことを考えて行動することが大切かを考え、話し合う。 ▼学校やクラス以外の集団でどんな役割を任されているかを振り返る。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○自分の役割と責任を自覚し、集団生活の充実に努めようとする ことについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 学校での仕事や役割を振り返り、それにどんな姿勢で臨んでいるか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 集団における自分の役割を果たす際に大切なことについて、役割を果たす立場、いっしょに臨む人の立場など、さまざまな面から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 複数の役割が重なった場合に、自分はどんなことを大切に して判断し、行動すればよいかと考えている。	特別活動(児童会活動) 社会参画に関する教育	
	適宜	★なんだろう なんだろう★ 生きる「しあわせ」って、なんだろう。 関連する内容項目 D (22) よりよく生きる喜び A (4) 個性の伸長/C (15) 家族愛、家庭生活の充実 家庭学習や朝の読書活動の時間などを活用して、「なんだろう なんだろう」を読み、「生きる幸せ」とは何なのか、考えてみる。					
	10月 (2)	【つながる命】 D (19) 生命の尊さ 18 三十八億年の命	全ての命は38億年も前からつながっているという話などを通して、「命」は、誰のものなのかを考えさせ、つながりの中にある生命のかけがえのなさを自覚し、生命を大切に生きようとする心情を育てる。	★命は、だれのものだろう。 ①「命のつながり」という言葉から、思い浮かんだ「つながり」を出し合う。 ②「三十八億年の命」を読み、筆者はどうして「命は、あなただけのものではない」と言っているのかを考え、発表する。 ③「命は、あなただけのものではない」ということについて、どんなことを考えたかを出し合い、話し合う。 ▼命のつながりについて書かれた本を読む。 ④巻末「学びの記録」に記入する。	○つながりの中にある生命のかけがえのなさを自覚し、生命を大切に して生きることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 「命のつながり」とは自分にとってどのようなものかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 命は全ての生き物とつながっていること、生命は神秘的なものであること、一人一人がたった一つのかけがえのない存在であることなど、命をさまざまな面から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 多くの命とつながっている自分の存在を意識したうえで、自分はこれからどう行動していこうかと考えている。	理科 図書館活用	
	適宜	★感じよう いのち★ 命のつながりを感じよう！ D (19) 生命の尊さ 「生き物年表」を書くことを通して、38億年の命のつながりを実感し、命を大切にしようとする気持ちをもつ。					いじめ問題 理科
○「前期」を振り返った評価(4月～10月2週目) ここまで学んだ、【C (16) よりよい学校生活、集団生活の充実】【A (5) 希望と勇気、努力と強い意志】【A (3) 節度、節制】【B (7) 親切、思いやり】【A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【C (12) 規則の尊重】【B (11) 相互理解、寛容】【B (10) 友情、信頼】【D (19) 生命の尊さ】【D (20) 自然愛護】【D (21) 感動、畏敬の念】【A (3) 節度、節制】【A (2) 正直、誠実】【B (9) 礼儀】【B (10) 友情、信頼】【C (16) よりよい学校生活、集団生活の充実】【D (19) 生命の尊さ】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びの記録」にある児童の書き込みや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。							

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
広い視野で人や社会と関わるって?	10月 (3)	【相手の思いに応じて】 B (8) 感謝 19 おばあちゃんから もらった命	命を守ってくれたおばあさんへの感謝を忘れないめぐみさんの姿などを通して、相手の思いに応えるためにできることを考えさせ、温かなつながりに感謝し、善意に応えようとする実践意欲を育てる。	★相手の思いに応えるためにできることは、何だろう。 ①家族に感謝するのはどんなときかを考え、出し合う。 ②「おばあちゃんからもらった命」を読み、「今度は、わたしがおん返しをする番です。」というめぐみさんの言葉には、どんな思いが込められているかを考え、話し合う。 ③「おん返し」したい人がいるか、また、その人にどんな恩返しをしたいかを考え、発表する。 ▼恩返しをしたい人に、その思いを伝える。 ▼教科書 P190 の「日本各地で取り組む『防災活動』」を見る。 ④巻末「学びの記録」に記入する。	○人と人の温かなつながりに感謝し、善意に応えようとするこの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 身の回りの人々に対して感謝の気持ちをもつことができているか、また、それに応えることができているか、振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞き、身の回りの人々に対する感謝の気持ちには、さまざまな感じ方や表し方があると気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分を支えてくれている人の思いに応えるために、自分には何ができるかを考えている。	防災教育
	10月 (4)	【家族のために】 C (15) 家族愛、家庭生活の充実 20 祖母のりんご	今の祖母にとまどいながらも、昔の優しい祖母を思い出して涙する「わたし」の姿などを通して、家族とはどんなものかを考えさせ、家族を敬愛し、家族のために自分にできることをしようとする心情を育てる。	★「祖母のりんご」から見えてくる家族とは、どんなものだろう。 ①「祖母のりんご」を読み、「朝子、悪かったな。(中略)おばあちゃんは、お父さんのお母さんなんだ。」と父から言われたとき、「わたし」はどんなことを思ったかを考え、発表する。 ②「今度はわたしの番だからね。」という言葉には、「わたし」のどんな思いが込められているかを考え、話し合う。 ▼家族のために、どんなことができるかを考える。 ③巻末「学びの記録」に記入する。	○家族を敬愛し、家族のために自分にできることをしようとするこの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 家族に対してどのような態度で接しているか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 家族を大切に思うときと、そう思えなくなってしまうときの両方に触れたうえで、家族と温かい関係性を築くために大切なことについて考えを深めている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これから自分は、家族に対してどんな思いをもち、どんなふうに関わっていこうかと考えている。	福祉に関する教育
	11月 (1)	【郷土を大切に】 C (17) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 21 ようこそ、菅島へ!	訪れる人に、島のよさを伝えようとがんばる順平の姿などを通して、国や郷土を大切にすることについて考えさせ、先人の努力を知り、国や郷土の自然や文化を大切に、発展させていこうとする心情を育てる。	★郷土を大切にすることについて、考えよう。 ①住んでいる地域の自慢を考え、出し合う。 ②「ようこそ、菅島へ!」を読み、順平はどんなことを考えながらガイドをしているのかを想像し、発表する。 ③順平は、どうして島について伝えたいことが後から後からあふれてきたのかを考え、話し合う。 ④自分の生まれた所や住んでいる地域のよさや魅力はどんなことかを考え、発表する。 ▼日本を訪れた外国の人に、自分の地域や日本のよさ、伝統や文化を紹介するなら、どんなところを紹介したいかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○先人の努力を知り、郷土の自然や文化を大切にし、発展させていこうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 生まれ育ってきた郷土とその伝統や文化について、自分はどういう考えをもっているか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞き、自分の地域にあるさまざまなよさや魅力について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分自身が郷土とその伝統や文化の担い手であることを意識したうえで、自分にもできることはないかと考えている。	総合的な学習の時間 特別活動(児童会活動) 伝統文化教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
広い視野で人や社会と関わるって？	11月 (2)	【真実を求めて】 A (6) 真理の探究 2.2 真の看護を求めて ——ナイチンゲール	疑問をもって観察し、真実を突き止めて解決への道を開いたナイチンゲールの生き方などを通して、真実を追求しようとする思いはなぜ大切かを考えさせ、真理を大切にし、物事を探究しようとする心情を育てる。	★真実を追求しようとする思いは、なぜ大切なのだろう。 ①自分は、何かをじっくり考えたり観察したりすることは好きかを振り返る。 ②「真の看護を求めて——ナイチンゲール」を読み、ナイチンゲールが兵士を救うために大事にしたことは何かを考え、発表する。 ③ナイチンゲールの「真実を追求しようとする強い思い」によって、何が変わったのかを考え、話し合う。 ④真実を追求しようとする思いはなぜ大切なのかを考え、話し合う。 ▼真実を追求した人の姿が描かれた本を読む。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○真理を大切にし、物事を探究しようとする心の大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 興味が湧いたことを進んで調べたり、追求したりしているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 登場人物の姿や友達の考えをもとに、探究心をもち続けることのよさや、探究心がもたらすものについて考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 探究心をもち続けるために、どんな気持ちを大切にしているか考えている。	算数科 図書館活用 キャリア教育
	11月 (3)	【他国の人々を理解して】 C (18) 国際理解、国際親善 2.3 小さな国際親善大使	国ごとの文化の違いに関心を抱く芽衣の姿などを通して、他国の習慣や文化を理解することの大切さを考えさせ、他国への関心や理解を深め、他国の習慣や文化を尊重し、国際親善に努めようとする心情を育てる。	★他国の習慣や文化を理解することは、なぜ大切なのだろう。 ①「国際親善大使」とは何かを確認する。 ②「小さな国際親善大使」を読み、お兄さんから料理を残したわけを聞いたとき、芽衣はどんなことを考えたのかを想像し、発表する。 ③笑顔になった女の人たちを見て、芽衣はどんなことを考えたかを想像し、発表する。 ④「だれもが国際親善大使になれるはずだよ。」という言葉について、どんなことを考えたかを話し合う。 ▼他国の文化について知ることができる本を読む。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○他国への関心や理解を深め、尊重し合いながら、国際親善に努めようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分の国の文化や習慣と異なるものに出会ったとき、自分はどのように感じるかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、国際親善の在り方にはいろいろな考えがあることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 他国の習慣や文化への関心や理解を深め、互いを尊重し合うために、自分はどんな心を大切にしたいかを考えている。	総合的な学習の時間 図書館活用 共生 国際理解教育 食育
	11月 (4)	【社会に役立つとは】 C (14) 勤労、公共の精神 2.4 クール・ボランティア	ボランティア活動への見方が変わる信二の姿などを通して、ボランティア活動を支える心について考えさせ、勤労や社会奉仕の意義ややりがいを理解し、公共のために役立とうとする心情を育てる。	★ボランティア活動を支える心について、考えよう。 ①何かのボランティア活動に取り組んだことがあるかを振り返り、出し合う。 ②「クール・ボランティア」を読み、「どうせやるなら、カッコいいほうがいいじゃないか。」と言った信二が思っていたボランティアとはどんなものかを考え、発表する。 ③「これがクール・ボランティアだよ」と言われた信二は、どんなことを考えたのかを想像し、話し合う。 ④ボランティア活動は人々のどんな気持ちに支えられているかを考え、話し合う。 ▼これから挑戦してみたいボランティア活動を考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○勤労や社会奉仕の意義ややりがいを理解し、公共のために役立とうとする心について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 これまでの、社会のために働いたり奉仕したりした経験を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 社会に奉仕することの尊さや満足感、成し遂げた際の喜びや手応えなどのさまざまな面から、社会に奉仕する喜びについて考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 社会のために働くことについて自分なりの考えをもち、自分にはどんなことができるかを考えている。	特別活動(児童会活動) 図書館活用 キャリア教育 社会参画に関する教育
	適宜	★学びのじゅんぴ★ 「自分らしさ」について考えてみよう A (4) 個性の伸長 次の『「自分らしさ」を見つめよう』の学習の準備として、教科書 P131・132 の資料「手塚治虫が見つけた『自分の道』」を読み、手塚さんの「自分らしさ」や、自分自身の「自分らしさ」について考えておく。				

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
広い視野で人や社会と関わるって?	12月 (1)	【自分らしさを知る】 A (4) 個性の伸長 2.5 「自分らしさ」を見つめよう	『自分らしさ』の窓』を完成させる活動や、手塚治虫氏のエピソードなどを通して、さまざまな自分を知り「自分らしさ」を見つめさせ、自分の特徴に目を向け、長所を伸ばしていこうとする実践意欲を育てる。	★いろいろな自分を知り、「自分らしさ」を見つめよう。 ①自分の「いいところ」は何かを考え、出し合う。 ②グループで、それぞれの『自分らしさ』のまど』を完成させ、気がついたことや考えたことをまとめる。 ③友達や自分のいいところを見つけ合う活動を通して、考えたことを発表する。 ④「自分らしさ」を見つめることができると、どんないいことがあるかを考え、発表する。 ▼これから、どんな「自分らしさ」を伸ばしていきたいかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○自分の特徴に目を向け、長所を伸ばすことについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分にはどのような特徴があるか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自分自身をさまざまな観点や方法で見つめ、たくさんの自分らしさに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分らしさを伸ばすことについて自分なりの考えをもち、これからどのように自分と向き合っていこうかと考えている。	特別活動(学級活動) 図書館活用 キャリア教育
	12月 (2)	共に生きる 【分かり合うために】 B (11) 相互理解、寛容 2.6 プランコ乗りとピエロ	対立する二人が互いを許し認め合い、サーカスを成功させる姿などを通して、考えの違う者どうしが関わり合って暮らすために必要な心を考えさせ、広い心で相手の思いや立場を尊重しようとする心情を育てる。	▼幸せに生きる権利をもっていることについて、「プランコ乗りとピエロ」と「だれもが幸せになれる社会を」を通して考えることを確認する。 ★考えのちがう者どうしが関わり合ってくるためには、どんな心が必要なのだろう。 ①他の人の言動を許せないと思うとき、自分はどうかを考え、出し合う。 ②「プランコ乗りとピエロ」を読み、約束の時間を超えて演技を続けるサムを見ながら、ピエロはどんなことを考えていたかを想像し、発表する。 ③ピエロのサムに対する気持ちはどうして変わったのかを考え、発表する。 ④団員たちの明るい笑い声に包まれた最終日が迎えられたのは、サムとピエロ、そして団員たちの心がどのように変わったからかを考え、話し合う。 ▼「考えるヒント」(こんな活動で考えることもできるよ)を適宜、活用する。 ▼「だれもが幸せになれる社会を」を学んだ後、教科書P146・147のコラム「子どもの権利条約」を読み、誰もが幸せに生きるために大切なことについて、さらに考えを深める。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○広い心で相手の思いや立場を尊重しようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 立場や考えが異なる相手に対して、自分はどういう気持ちで接しているかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、対立する考えの者どうしが互いを理解し、協力していくために大切なことについての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 立場や考えが異なるために対立する相手に対して、これから自分はどのように接していこうかと考えている。	国語科 いじめ問題 共生
	12月 (3)	【公正・公平な社会をめざして】 C (13) 公正、公平、社会正義 2.7 だれもが幸せになれる社会を	ハンセン病の歴史や元患者のきみ江さんの姿などを通して、誰もが幸せになれる社会とはどのようなものかを考えさせ、差別や偏見をもたず、公正、公平な態度で正義の実現に努めようとする実践意欲を育てる。	★だれもが幸せになれる社会とは、どんなものだろう。 ①「幸せ」とはどんなものかを考え、出し合う。 ②「だれもが幸せになれる社会を」を読み、ハンセン病の元患者たちの宿泊を断ったホテルのどんな考えが間違っているのかを考え、発表する。 ③きみ江さんは、どんな思いで「人が同じあやまちをくり返さないよう」と言っているのかを考え、話し合う。 ④誰もが幸せになれる社会とはどのようなものなのか、また、そのような社会を実現するためにはどんなことが必要なのかを考え、話し合う。 ▼教科書P189の「学びの道具箱」(シャッフル対話)を適宜、活用する。 ▼きみ江さんの生きる姿が描かれた本を読む。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○差別や偏見をもたず、公正、公平な態度で正義の実現に努めようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 クラスや集団、社会の中で、多数派ではない立場の人に対してどのような考え方をしていたかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 社会的な差別や偏見が起きる背景や、それを乗り越えることの大切さと難しさなどといったさまざまな面から、公正、公平な社会についての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 差別や偏見を許さない姿勢の大切さを踏まえて、誰もが幸せになれる社会の実現のために、どんな意識をもつことが大切かを考えている。	社会科 図書館活用 いじめ問題 共生 社会参画に関する教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
自分の生き方を見つめるって？	適宜	★コラム★ 〈共に生きる〉 子どもの権利条約 B (11) 相互理解、寛容／C (12) 規則の尊重／C (13) 公正、公平、社会正義				社会科 図書館活用 いじめ問題 共生 社会参画に関する教育
	○「学習のまとめ」を振り返った評価(9～12月)					
	<p>ここまで学んだ、【A (3) 節度、節制】【A (2) 正直、誠実】【B (9) 礼儀】【B (10) 友情、信頼】【C (16) よりよい学校生活、集団生活の充実】【D (19) 生命の尊さ】【B (8) 感謝】【C (15) 家族愛、家庭生活の充実】【C (17) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】【A (6) 真理の探究】【C (18) 国際理解、国際親善】【C (14) 勤労、公共の精神】【A (4) 個性の伸長】【B (11) 相互理解、寛容】【C (13) 公正、公平、社会正義】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。</p> <p>「学びの記録」にある児童の書き込みや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。</p>					
1月 (2)	【自由とは】 A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任 28 うばわれた自由	それぞれの自由を主張する森の番人ガリユと、王子ジェラルの姿などを通して、「本当の自由」とはどのようなものかを考えさせ、自由に伴う責任の大きさを感じ取り、自律的で責任ある行動をしようとする判断力を育てる。	★「本当の自由」とは、どんなものだろう。 ①「自由っていいなあ。」と思ったことがあるか、また、どんなときにそう思ったかを思い起こし、出し合う。 ②「うばわれた自由」を読み、「おまえも自由にくらししてみろ。」とガリユに言ったとき、ジェラル王子はどんなことを考えていたかを想像し、発表する。 ③牢屋から去っていくガリユを見て、ジェラル王はどんなことを考えたかを想像し、話し合う。 ④「本当の自由」とはどんなものかを考え、話し合う。 ▼自由について書かれた本を読む。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○自由に伴う責任の大きさを実感し、自律的で責任ある行動をしようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 「自由」について、自分はどんな考えをもっているかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 本当の意味での自由とはどのようなものかについて、意見の交流などを通して、さまざまな角度から考え、見方を広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自由と責任の関係性を踏まえて、これから自分はどのように行動していこうかと考えている。	図書館活用法教育	
1月 (3)	【誠実に生きる】 A (2) 正直、誠実 29 千羽づる	友達との約束を破り、うそをついてごまかしてしまった南の姿などを通して、誠実に生きるにはどんな考えがあればよいのかを考えさせ、自分自身に誠実に明るい心で生活しようとする心情を育てる。	★誠実に生きるには、どんな考えがあればよいのだろう。 ①「誠実」とは、どういう意味かを確認する。 ②「千羽づる」を読み、熱が出て鶴が折れなかったと言ったとき、南はどんなことを思っていたかを想像し、出し合う。 ③黙っていれば分からないのに、南はどうして悩んでいるのかを考え、話し合う。 ④誠実に生きるにはどんな考えが大切なのかを考え、話し合う。 ▼うそをつくのはいけないと分かっているが、人はなぜうそをついてしまうのかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○自分自身に誠実に明るい心で生活することの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 誠実であることが大切なのはわかっているのに、そうできなかった経験がないかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 誠実でいたいと願うことと、実際に誠実ではいられなくなってしまふことの両面から、誠実に生きることの大切さと難しさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これから、自分自身に誠実であるために、どんな心を大切にすればよいかを考えている。		

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
自分の生き方を見つめるって?	1月 (4)	【きまりの意義】 C (12) 規則の尊重 30 お客さま	きまりを守ってほしい遊園地の係員ときまりを守らない客の対立を見た「わたし」の姿などを通して、きまりは何のためにあるのかを考えさせ、互いの権利を大切に、きまりを進んで守ろうとする判断力を育てる。	★きまりは、何のためにあるのだろう。 ①「権利」と「義務」という言葉の意味を確認する。 ②「お客さま」を読み、「お客さまなんですよ。」という男の人の言葉を聞いてびっくりした「わたし」はどんなことを思ったかを考え、発表する。 ③ショーの会場を後にして、「わたし」はどんなことを考えていたかを想像し、話し合う。 ④きまりは何のためにあるのかを考え、話し合う。 ▼教科書P188の「学びの道具箱」(ピラミッドチャート)を適宜、活用する。 ▼「公園のきまりを作ろう」と本時で学んだことをつなげて考える。 ▼「権利を大切に、義務を果たす」とはどういうことか考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○互いの権利を大切に、きまりを進んで守ろうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分の利益を優先して、きまりを破ってしまうことはないかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 きまりが守られなかったときの影響や、きまりがあることのよさなどのさまざまな視点から、きまりの意義についての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 それぞれの人に権利があることやきまりの意味を意識したうえで、それらは、自分の生活にどう関わっていくのかと考えている。	法教育
	2月 (1)	【思いやりとは】 B (7) 親切、思いやり 31 「思いやり」って、何だろう	「思いやり」について多様な考えを出し合い、「思いやり」とは何かを考える活動などを通して、「思いやり」についての考えを深め、友達と考えた「思いやり」の本質を、これからの自分の生き方に生かそうとする心情を育てる。	★「思いやり」について、考えを深めよう。 ①「思いやり」について、これまでにどんなことを考えてきたかを振り返る。 ②『思いやり』って、何だろう』を読み、グループになって「思いやり」とは何かを考え、話し合う。 ③「思いやり」について、みんなで考えてよかったことや、新しく発見したことを発表する。 ④巻末「学びの記録」に記入する。	○対話を通じて「思いやり」の本質について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 「思いやり」とはどのようなものか、これまでの自分の経験を振り返りながら考えている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 「思いやり」についてのさまざまな考え方を聞く中で、「思いやり」とはどのようなものか、自分の考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 「思いやり」の本質を捉えたうえで、それを今後の学習や実生活にどのように生かしていこうかと、考えを深めている。	国語科 共生 福祉に関する教育
	適宜	★学びのじゅんぴ★ 地域のためにつくす人について知ろう B (8) 感謝 次の「水がわたる橋——通潤橋」の学習の準備として、自分が住む地域のために力を尽くした人・尽くしている人にはどんな人がいるのか考えておく。				
	2月 (2)	【感謝の心をもって】 B (8) 感謝 32 水がわたる橋——通潤橋	村に水を送るために尽力した布田保之助の姿などを通して、自分たちの生活がどんな人たちに支えられているのかを考えさせ、自分たちの生活が、過去の人々の尽力のうえにあることに感謝し、善意に応えていこうとする心情を育てる。	★自分たちの生活は、どのような人たちに支えられているのだろう。 ①自分たちの生活を、見えないところで支えてくれている人には、どんな人がいるかを考え、出し合う。 ②「水がわたる橋——通潤橋」を読み、保之助が水を引くことが難しい白糸の地に橋を架けることを決意したのはどんな思いからだっただのかを考え、発表する。 ③「白糸に水を。水を送ろう！」という合い言葉には、人々のどんな思いが込められているかを考え、出し合う。 ④人々が今でも言い伝えている「この水は、命そのものだ。」という言葉には、どんな思いが込められているかを考え、話し合う。 ▼自分たちの生活を支えてくれている人たちへの感謝の気持ちは、どんな形で表せるかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○自分たちの生活が、過去の人々の尽力のうえにあることに感謝し、その善意に応えていこうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 友達の意見を聞き、自分の生活はどんな人に支えられているかを振り返り、その人たちにどのような思いをもっているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 尊敬し感謝する対象はたくさんいることについて、広い視野で考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 見えないところで生活を支えてくれている人、過去に力を尽くしてくれた人などに対して、自分はどんな思いをもって生活していこうかと考えている。	社会科 社会参画に関する教育 伝統文化教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
自分の生き方を見つめるって?	2月 (3)	【精いっぱい生きる】 D (19) 生命の尊さ 33 最後のコンサート ——チェロ奏者・ 徳永兼一郎	病に侵されながらチェロ奏者としての生き方を全うした徳永兼一郎氏の姿を通して、「精いっぱい生きる」とはどういうことかを考えさせ、かけがえのない生命を大切に生きようとする心情を育てる。	★「精いっぱい生きる」とは、どういうことだろう。 ①「生きる」とは、どういうことだと思うかを出し合う。 ②「最後のコンサート——チェロ奏者・徳永兼一郎」を読み、兼一郎はどんな気持ちで東京でのコンサートに向けてチェロの練習を続けたのかを考え、出し合う。 ③チェロを弾けるような状態ではなかった兼一郎が、ホスピスでのコンサートで演奏することを諦めなかったのは、どんな思いがあったからかを考え、話し合う。 ④「精いっぱい生きる」とはどういう生き方をすることかを考え、話し合う。 ▼「命の詩——電池が切れるまで」と本時で学んだことをつなげて考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○かけがえのない生命を大切に生きようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 限りある自分の命を生きることについて、自分はどのように考えてきたかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 限りある生命を懸命に生きることの尊さ、生きることの意義を追い求める高尚さなど、さまざまな側面から命を尊重することについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 「精いっぱい生きる」ために、自分はどのような考えや行動をするべきかを考えている。	音楽科
	3月 (1)	【くじけないで】 A (5) 希望と勇気、努力と強い意志 34 今、自分がいいと思うものを ——切子作家・ 小川郁子	今までの作品にとらわれず自分がいいと思う切子を作り続ける小川郁子さんの姿を通して、くじけない心の根っこにはどんな思いがあるのかを考えさせ、目標に向け困難に負けずに努力し、やり抜こうとする実践意欲を育てる。	★くじけない心の根っこには、どんな思いがあるのだろう。 ①くじけそうになったことがあるかを振り返り、出し合う。 ②「今、自分がいいと思うものを——切子作家・小川郁子」を読み、「こんなにイメージどおりにならないなんて。」と思ったとき、小川さんはどんな気持ちだったかを想像し、発表する。 ③小川さんはどんな思いで、試行錯誤をしながらガラスをカットし続けたのかを想像し、話し合う。 ④くじけずにがんばってよかったなど思うことはあるか、また、それはどんなことかを振り返り、発表する。 ▼大変なことにもくじけずに研究をやり抜いた人の本を読む。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○目標に向け困難に負けずに努力し、やり抜こうとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 目標に向かってがんばった経験や、くじけそうになった経験について振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 目標に向かってくじけずにがんばることのできる人間の強さや、反対に、くじけてしまう人間の弱さなど、さまざまな側面から、何かをやり遂げようとする人のことについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の目標に向かってくじけずに努力するために、これからどんなことを大切にしていきたいかを考えている。	社会科 図画工作科 図書館活用 キャリア教育 伝統文化教育
	3月 (2)	【生きる喜び】 D (22) よりよく生きる喜び 35 アンパンマンが くれたもの	東日本大震災のときに「アンパンマンのマーチ」がなぜ、人々の心を動かしたのかを考えることなどを通して、「生きるよろこび」とは何かを考えさせ、人間の強さや気高さを理解し、よりよく生きようとする心情を育てる。	★「アンパンマンのマーチ」から見えてくる「生きるよろこび」とは、何だろう。 ①「アンパンマンのマーチ」を知っているかを確認する。 ②「アンパンマンがくれたもの」を読み、「アンパンマンのマーチ」にある「生きるよろこび」とはどのようなものかを考え、発表する。 ③「アンパンマンのマーチ」の何が人々の心を動かしたのかを考え、話し合う。 ④自分の「生きるよろこび」は何かを考え、発表する。 ▼やなせたかしさんが作詞した「手のひらを太陽に」の歌詞には、どんな思いが込められているかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○人間の強さや気高さを理解し、よりよく生きようとするこの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分にとっての生きる喜びとは何かについて、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 人の強さと弱さの両面から、誇りある生き方、夢や希望など、さまざまな喜びのある生き方について、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 人がもつ強さや弱さを自分事として考え、「生きるよろこび」を感じていきたいという気持ちを抱いている。	音楽科 図書館活用
<p>○「学習のまとめ」を振り返った評価(1~3月)</p> <p>ここまで学んだ、【A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【A (2) 正直、誠実】【C (12) 規則の尊重】【B (7) 親切、思いやり】【B (8) 感謝】【D (19) 生命の尊さ】【A (5) 希望と勇気、努力と強い意志】【D (22) よりよく生きる喜び】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びの記録」にある児童の書き込みや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。</p>						

月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的活动は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり

○「後期」を振り返った評価(10月3週目~3月)

ここまでで学んだ

【B(8)感謝】【C(15)家族愛、家庭生活の充実】【C(17)伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】【A(6)真理の探究】【C(18)国際理解、国際親善】【C(14)勤労、公共の精神】【A(4)個性の伸長】【B(11)相互理解、寛容】【C(13)公正、公平、社会正義】【A(1)善悪の判断、自律、自由と責任】【A(2)正直、誠実】【C(12)規則の尊重】【B(7)親切、思いやり】【B(8)感謝】【D(19)生命の尊さ】【A(5)希望と勇気、努力と強い意志】【D(22)よりよく生きる喜び】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。

「学びの記録」にある児童の書き込みや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。